

富山のナウマン象は小型？

科学文化センターの自然史展示室に、大きなナウマン象の全身骨格の標本が展示してあります。これは、本物の化石ではありませんが、頭の骨は千葉県下総町で、残りの大部分の骨は、北海道の忠類村というところで掘り出されたものをもとに、色も形も大きさもそっくりに作った複製です。

ナウマン象の化石は、富山県からも見つかっています。最近も一昨年から昨年にかけて、大沢野町から歯の化石などが見付き、新聞等で大きく報道されたことは御存知でしょう。

ナウマン象は、今から
で、北は北海道から
日本各地にすんで

1万6000年位前ま
南は九州まで
いました。



当時のナウマン象の生きているようすは、図のような復元図に描かれています。「野尻湖のナウマン象」金子三蔵(日本の自然(平凡社)より)

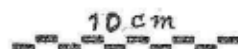
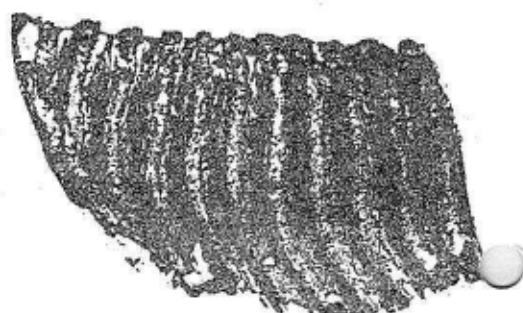
最近、大沢野町で見つかった歯
の化石(図)を 他の地域で見つ
かったものと比較してみました。

すると、今まで発見された多く
のものより、ひとまわり小さいこ
とがわかりました。歯のすり減り
方から考えて、ちゃんとした「おと
な」の象なのですが。

ナウマン象のなかまは、以前に
も平村から発見されています。こ

れは、トクナガ象と呼ばれました
が、この歯も同じようにひとまわ
り小さいのです。これらの原因に

ついては、よくわかりませんが、富山あたりには比較的小型のナウ
マン象がすんでいたのかもしれません。大沢野町で発見された化石
は、発見者などの方々の御好意で、大部分が富山市科学文化センタ
ーに收藏されることになりました。そしてその一部は、自然史展示
室に展示される予定です。また見に来て下さい。(H.A)



大沢野町で見つかったナウマン象
の歯 上：上からみたところ
下：横からみたところ

富山市科学文化センター

〒930-11 富山市西中野町3丁目1番19号

TEL 富山 (0764) 91-2123

○付属天文台 富山市五福8番地

☎ (0764) 32-3334

○開館 午前9:00～午後4:30

最終プラネタリウム3:40より放映

○入館料 大人200円 小人100円

○休館日 月曜日・祝日

(ただし5月5日と11月3日は開館)

昭和55年5月1日発行